

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 A52	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お名前	様
お客様	〒
ご住所	TEL ()
販売店	店名・住所
上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やリモコン電池・ディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



1 ボディタイプ
GPS アンテナ内蔵レーダー探知機

A52

取扱説明書

12V車専用



このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用状況により機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

●本機を初めてご使用する場合は、この部分をお読みください。

4 確認とご注意

ページ

10 基礎知識

ページ

17 すぐに使う

ページ

38 表示について

ページ

42 警報について

ページ

●ity.MAPサービスとオービス・取締り系 & コンテンツデータ更新のご案内です。

33 ity.MAPサービス

ページ

●機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらをお読みください。

53 カスタマイズして使う

ページ

●「故障かな?と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

75 その他

ページ

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1995-A

確認とご注意

基礎知識

すぐに使う

表示について

警報について

カスタマイズして使う

その他

確認とご注意	
安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
各部の名称と働き	10
基礎知識	
付属品の確認・別売品のご案内	11
1. 付属品	11
2. 別売品	11
3. 付属品・別売品の追加購入について	12
SDカードの装着/取り外し	13
1. SDカードを本体へ装着する	13
2. SDカードを本体から取り外す	13
本機について	14
1. GPSの種類	14
2. GPSの測位機能について	14
3. 受信可能な電波	15
4. 画面の明るさ調整(フレックスディマー) …	15
取締りのミニ知識	15
1. スピード違反の取締り方法	15
2. 取締りレーダー波について	16
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合	16
4. ステルス型取締りについて	16
すぐに使う	
取り付け(本機)	17
1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで 取り付ける	17
2. 直付け用両面テープでダッシュボードに 直接取り付け	20
取り付け(電源コード)	21
1. シガープラグコードによる配線	22
2. 電源直結コード(OP-9U)による配線	22
3. OBDⅡアダプターによる配線	24
メンテナンス(ヒューズ交換)	25
1. シガープラグコードのヒューズを交換する …	25
2. 電源直結コードのヒューズを交換する	25
3. OBDⅡアダプターのヒューズを交換する …	26

画面反転について	27
1. 画面を反転させる	27
初期値について	28
電源ON/OFF	29
1. 電源ONする	29
2. 電源OFFする	29
音量	30
1. 音量の調整	30
マナーモード	30
1. マナーモードにする	30
マイキャンセル	31
1. マイキャンセルエリアを登録する	31
2. マイキャンセルエリアを解除する	31
マイエリア	32
1. マイエリアを登録する	32
2. マイエリアを解除する	32
ity.MAPサービス	33
1. 今すぐ地図表示サービス(無料)について …	33
2. 地図閲覧サービス(無料)について	34
3. ログ機能[特許出願中] …	34
4. オービス・取締り系&コンテンツデータ更新 …	37

表示について	
画面表示について	38
1. 待受画面	38
2. 待受画面の変更方法	38
3. 待受画面の説明	39

警報について	
取締りレーダー波を受信すると… …	42
1. Wアラーム(ダブルアラーム)	42
2. オートクワイアット	42
3. 後方受信	42
4. ミュート機能	42
5. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ) …	42
6. ステルス波を受信すると	43
7. レーダー波3識別(IDSP)について	43

GPSターゲットに接近すると… …	44
1. GPSターゲット警告	44
警報ボイスについて	45
1. 左右方向識別ボイス	45
各種無線電波を受信すると…	50
1. 無線14バンド受信機能	50
2. ベストパートナー6識別	52

カスタマイズして使う	
設定メニューの表示方法	53
かんたんモード切替(共通)	53
1. [かんたんモード切替]の説明 …	53
2. かんたんモード切替手順	53
かんたん 設定(かんたんモード) …	54
1. [かんたん 設定]の説明	54
OBD(共通)	55
1. [OBD]の説明	55
2. 満タンスタート	56
3. 満タン補正	57
4. 係数補正	58
待受(通常モード)	59
1. [待受]の説明 …	59
2. プリセット表示項目変更	59

モード(通常モード)	65
1. [モード]の説明 …	65
2. マニュアルモードでのレーダー設定	67
3. マニュアルモードでの無線設定	68
4. マニュアルモードでのGPS設定 …	69
警報(通常モード)	70
1. [警報]の説明 …	70
画面(通常モード)	72
1. [画面]の説明 …	72
音声(通常モード)	73
1. [音声]の説明 …	73
システム(通常モード)	74
1. [システム]の説明 …	74

その他	
故障かな?と思ったら	75
仕様	78
アフターサービス	79
1. お客様ご相談センター	79
保証書	裏表紙

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告：**「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ **注意：**「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

➡ P.79「お客様ご相談センター」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

➡ 関連するページを示します。

⊘ **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

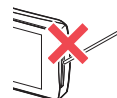
- 変色や変形、故障の原因となります。
- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

●取り付けについて

⚠ 警告

❗ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。**

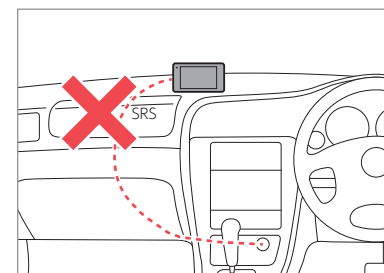
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ **粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。**

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⊘ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ **取り付けは確実に行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

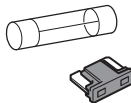
- ❗ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ **電源コードは確実に差し込んでください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ **お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
感電の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットは単独で使ってください。**
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ **指定以外のヒューズは使用しないでください。**
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❗ **指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナースアース車専用です。

- ❗ **コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
故障や感電の原因となります。



⚠ 注意

- ❗ **エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**

- ❗ **シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



●本機に操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ **走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。**
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ **海外ではご使用にならないでください。**
本機は日本国内仕様です。

- ❗ **急発進したり急ブレーキをかけないでください。**
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗ **運転者は走行中に操作しないでください。**
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ **本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❗ **ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。**
塗装面を傷めます。



●その他

⚠ 注意

- ❗ **車両から離れるときや使用しないときは、電源 OFF してください。**
バッテリー上がりの原因となります。

●OBDIIアダプター（別売品）について

⚠ 注意

- ❗ **OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。**
ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。



- ❗ **お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。**
感電の原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押ししたり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、リモコンや電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ SD カードに関する注意

- ・SDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードの出し入れは、本機を電源OFFした状態で行ってください。
- ・SDカードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
- ・SDカードに保存した画像データや音楽データなどのデータが消失した場合でも、データなどの保証に関し、当社では補償いたしかねます。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー/アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面の時計表示は、GPS非測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。
- ・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為(スピード違反など)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 無線14バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別は、はたらかしません。

■ 電源直結コード(別売品)で接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

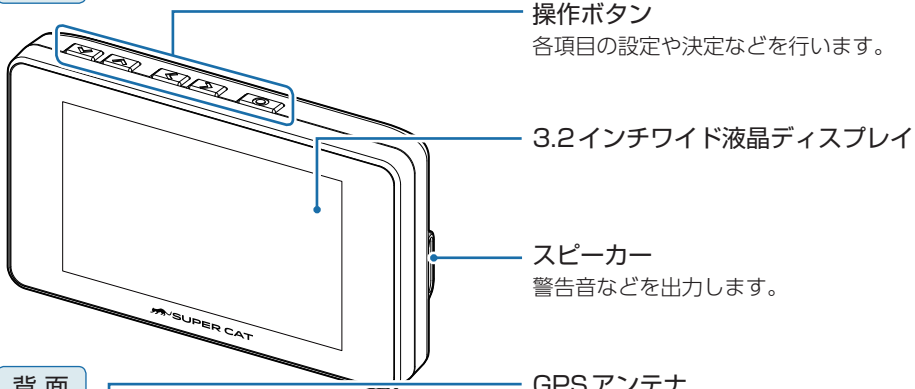
■ OBDIIアダプター(別売品)で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBDIIアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDIIコネクタへ本機のOBDIIアダプターを挿し込んでください。

各部の名称と働き

■ 本体

正面



背面



● 操作ボタンの動作一覧

ボタン	操作	非警報中(待受)	警報中(待受)	メニュー画面
✓	短押し	音量 DOWN	ミュート (● P.42)	カーソル移動
	長押し	音量 DOWN	音量 DOWN	—
^	短押し	音量 UP	音量 UP	カーソル移動
	長押し	音量 UP	音量 UP	—
◀	短押し	待受画面切り替え	—	カーソル移動
	長押し	—	—	—
▶	短押し	待受画面切り替え	—	カーソル移動 / 決定
	長押し	—	—	—
○	短押し	設定メニュー画面表示	—	待受画面表示
	長押し	※ 1	—	—

※ 1 : 「マイキャンセルエリア (● P.31)」「マイエリア (● P.32)」「ity.MAP (● P.33)」の登録・表示。

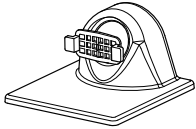
付属品の確認・別売品のご案内

つづく

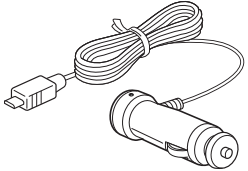
1. 付属品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

■ ダッシュボード取り付け用
ブラケット 1



■ シガープラグコード(ストレート
ミニプラグDC12V出力) 3m 1



■ 粘着シート 1

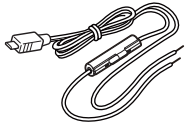
■ 直付け用両面テープ 1

■ 粘着マット 1

■ 取扱説明書・保証書(本書) 1

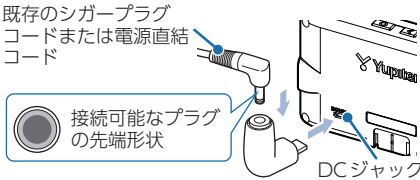
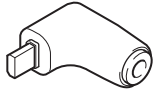
2. 別売品

■ 電源直結コード(約3m) OP-9U 本体 1,500円+税
シガープラグコードのかわりに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。コードが目立たず配線をすることができます。



■ DC プラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ OP-8U
本体 800円+税

弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存のシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクタです。



電源電圧がDC5V仕様の場合使用できません。

別売品のご案内

■ OBDIIアダプター

OBD12-MⅢ(約4m) 本体6,000円+税

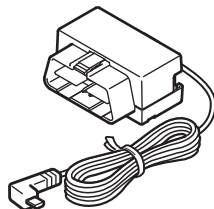
国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m) 本体8,000円+税

トヨタハイブリッド車専用

・アクティブ機能対応

(車速感知ドアロック、エマージェンシーシグナル)



シガープラグコードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、OBDIIコネクターから車両に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDIIアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDIIアダプターと表記します。

※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDIIアダプター適応表にてご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもあり、お客様のご判断で取り付けを行ってください。

※ ディーラーに入庫する際は、OBDIIアダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…

アダプターなし

GPS電波を受信できない

速度??

アダプターあり

赤色(非受信)

29

があると…



速度

⚠ 注意

・OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。

・OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

3. 付属品・別売品の追加購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト

<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの装着 / 取り外し

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※ 本機と市販品のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※ 本機は、4GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。

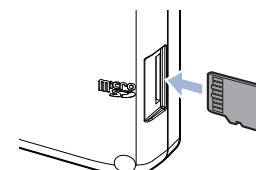
⚠ 注意

- ・ microSDカードの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- ・ microSDカードは一方方向にしか入りません。下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードアダプターが壊れることがあります。

1. SDカードを本体へ装着する

1-1 車両のエンジンをOFFする

1-2 SDカードを挿入する

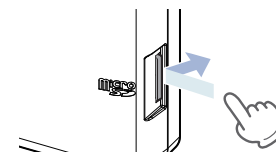


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

2. SDカードを本体から取り外す

2-1 車両のエンジンをOFFする

2-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「ひまわり」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. GPSの種類

本機では、最大70基の衛星を受信することができます。

■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高速ビル街などでも、より正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 運輸多目的衛星「ひまわり」

航空管制としての機能と気象観測の2つの機能を持つ静止衛星です。「ひまわり」からの信号を受信することにより、GPSの誤差を補正し、測位精度を向上します。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球航法衛星システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54識別]

■ クイック測位対応

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。

次の場合、クイック測位は機能しません。

- 最後に本機の電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源ONした場合。



■ VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPSで、自車の進行方向を検知して、ルートのずれを補正します。

GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によってより高精度な警告をすることができます。

■ OBDII車速検知(※別売品のOBDIIアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

3. 受信可能な電波

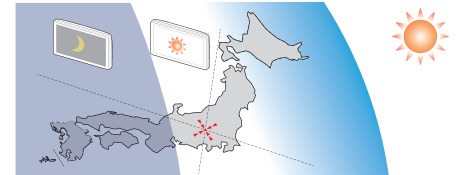
取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線14バンド} = \text{17 BAND}$$

4. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)

GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。

また、OBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を接続し、イルミ信号を受信すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。



※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさは異なります。

取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

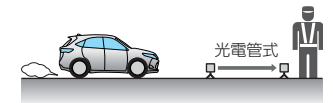
取締りレーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

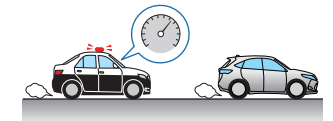
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りのミニ知識

2. 取締りレーダー波について

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

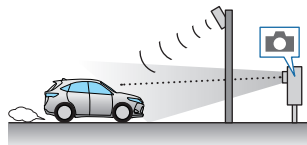
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



■ 自動速度取締り機（新Hシステム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



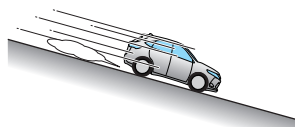
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- ※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ※ 前に走行している車両（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



【前に走行中の車両がある場合】



【下り坂】



【コーナー】

4. ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



※ ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。

※ ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

取り付け（本機）

つづく

本機を使用する手順として「本機」「電源コード」の手順に従って説明します。

まず本機を取り付けます。下記の2通りの取り付け方法があります。

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける
2. 直付け用両面テープでダッシュボードに取り付ける

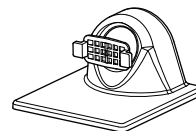
どちらかの方法で取り付けを行ってください。

あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

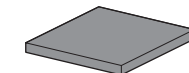
⚠ 注意

- ・ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ! ・ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・ GPS 衛星から電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット[特許 第6078725号]
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。

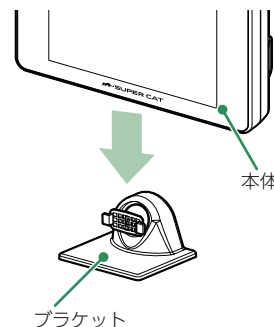


粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

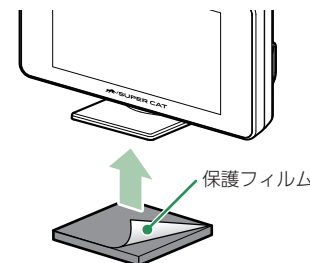
1-1

本体の溝をブラケットに合わせ取り付ける

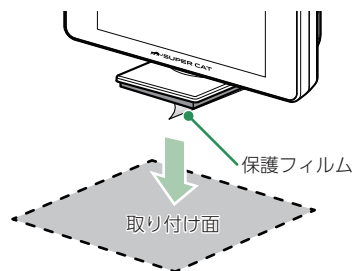


1-2

保護フィルムを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける

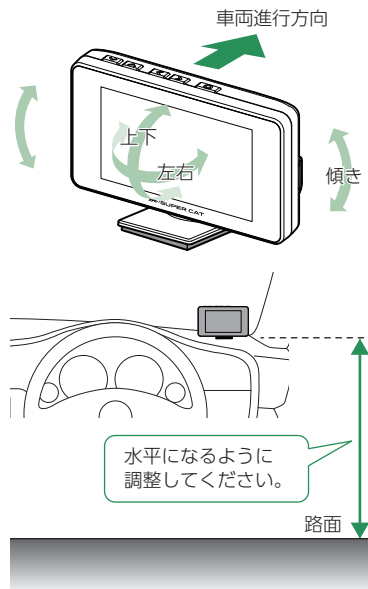


1-3 残りの保護フィルムをはがしダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



粘着マットは水洗いできます
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

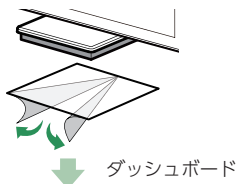
1-4 本体の向きを調整する



Gセンサーが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。

粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。

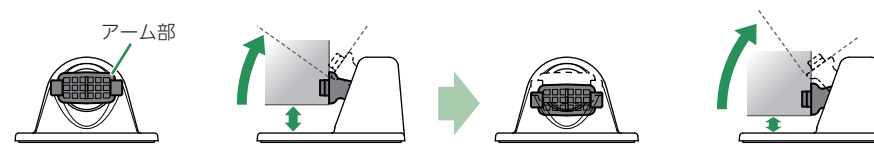


注意

- ・取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。

■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の取り付け高さを抑えることができます。
アームの向きを変えると、本機を起こす方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。

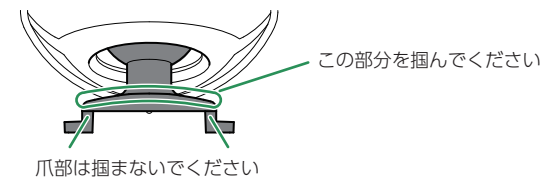


アーム部を180°反転して取り付ける

■ アーム部取り外し

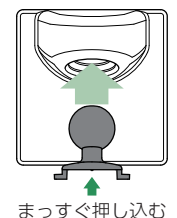
アーム部ツパの部分の布などを保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などのやわらかいもので保護してください。



■ アーム部取り付け

アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐに押し込んでください。



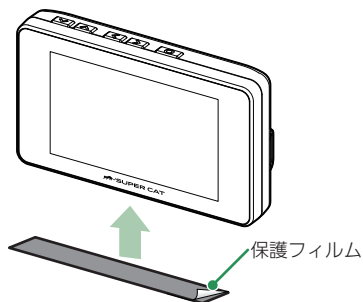
<付替え後>
アーム部の前面右側の爪に○の刻印があります。



取り付け (本機)

2. 直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

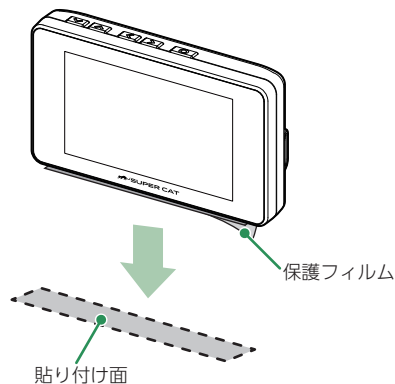
- 2-1** 直付け用両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、本体の底面に貼り付ける



本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付けの場合は、同等の両面テープ (市販品) をご用意ください。

- 2-2** 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける

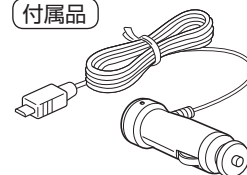


取り付け (電源コード)

つづく

3種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

付属品



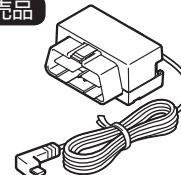
① シガープラグコード

別売品



② 電源直結コード (OP-9U)

別売品



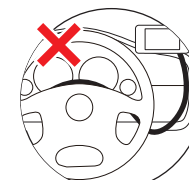
③ OBDIIアダプター

■ ご注意ください

特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

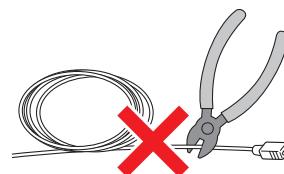


ペダル
操作の邪魔

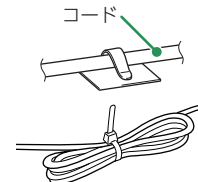


コードの
挟み込み

・コードが長くても、切って短くしないでください。



市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。

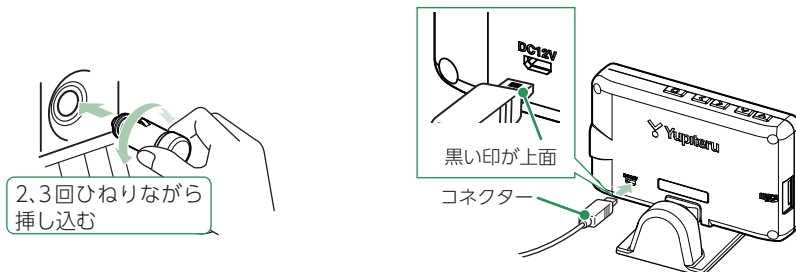


⚠ 警告

⚠ 本体のDC ジャックはUSB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本体をパソコンなど他の機器のUSB 端子と接続しないでください。

1. シガープラグコードによる配線 付属品

1-1 シガープラグコードを接続する



付属品のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。

※ シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

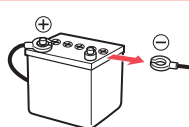
■ ご注意ください

一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード (OP-9U) か OBDII アダプター (● P.11) をご使用ください。

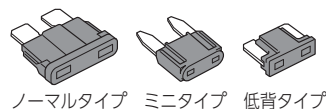
2. 電源直結コード (OP-9U) による配線 別売品

⚠ 警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

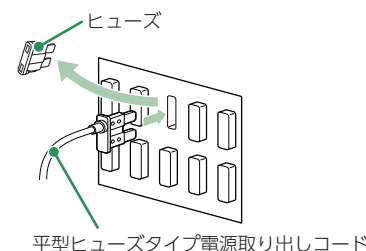


<準備するもの>



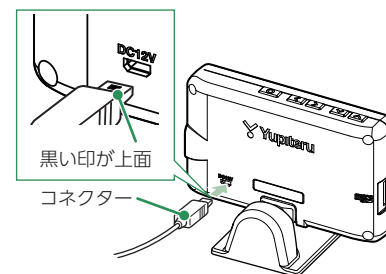
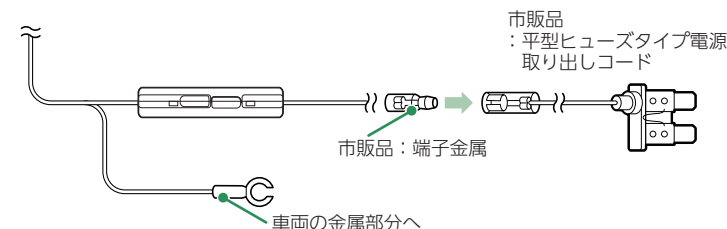
※ ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード (市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご注意ください。)

2-1 ヒューズを抜き、市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを差し込む



ヒューズの交換先は必ず、エンジンキーをACCの位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

2-2 電源直結コードを接続する



電源直結コードを本体のDCジャックと市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続します。

※ ヒューズの交換先は必ず、エンジンキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3. OBDIIアダプターによる配線 別売品

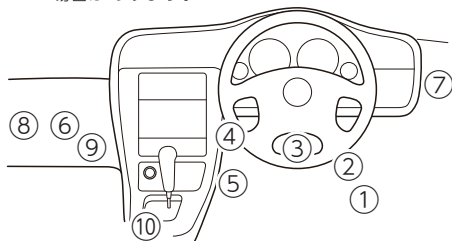
OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表をご確認ください。

警告

- 故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

■ OBDIIアダプター設置個所

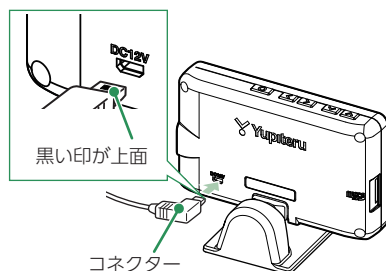
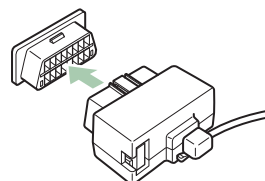
※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

3-1 OBDIIアダプターを接続する

車両側OBDIIコネクタ



別売品のOBDIIアダプターを本体のDCジャックと車両のOBDIIコネクタに接続してください。

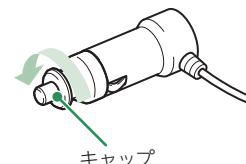
※ OBDIIアダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

接続状態でエンジンキーをONしても本機が電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

1. シガープラグコードのヒューズを交換する

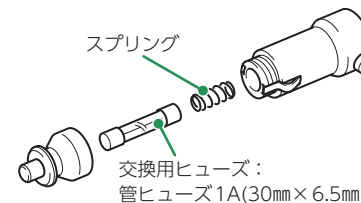
準備するもの: 管ヒューズ 1A(30mm×6.5mm)

1-1 キャップを外す



キャップを矢印の方向に回し、キャップを外します。

1-2 ヒューズを交換する



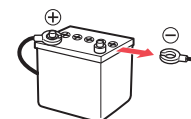
交換したあとは、外す時と逆方向に回してキャップを閉めてください。
※ スプリングの紛失に注意してください。

2. 電源直結コードのヒューズを交換する

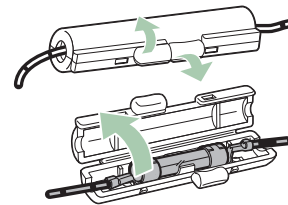
準備するもの: 管ヒューズ 1A(30mm×6.5mm)

警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



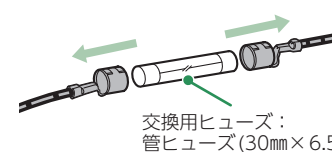
2-1 ヒューズを取り出す



ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出します。

※ ヒューズは白線付き黒コードと一緒に取り外します。

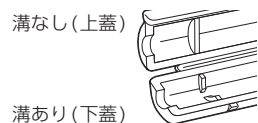
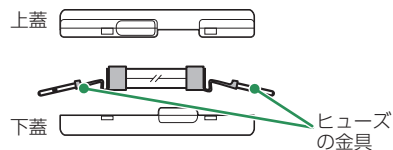
2-2 ヒューズを交換する



白線付き黒コードからヒューズを取り外し交換します。

メンテナンス(ヒューズ交換)

2-3 ヒューズをヒューズホルダーに入れる



下蓋に溝に合わせてはめ込んでください。

※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように上図の向きにしてください。

ヒューズの金具は、必ず左右同じ方向に向けてください。



※ 上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

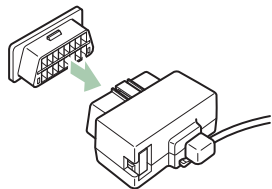
2-4 ヒューズを閉じる

3. OBDIIアダプターのヒューズを交換する

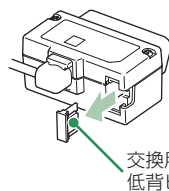
準備するもの：低背ヒューズ 2A

3-1 OBDIIアダプターを車両側OBDIIコネクタから外す

車両側OBDIIコネクタ



3-2 新しいヒューズと交換する



交換用ヒューズ：
低背ヒューズ2A

ペンチなどでヒューズを取り出し、新しいヒューズを差し込んでください。

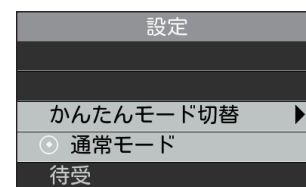
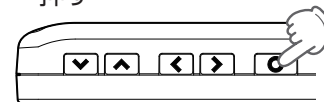
画面反転について

本機には画面を反転させる機能があります。取り付ける場所や使用用途によって切り替えてください。

※ 初期値は、「OFF」(反転しない)です。

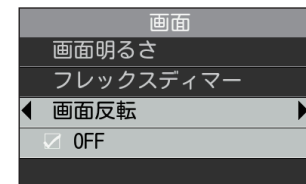
1. 画面を反転させる

1-1 待受画面で[○]ボタンを押す

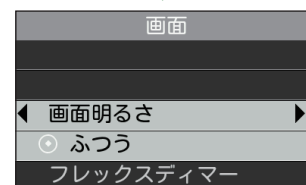
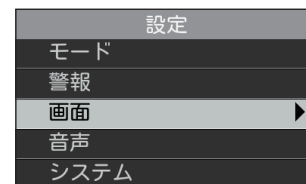


※ [かんたんモード]の場合は、[通常モード]に切り替えてください。(▶ P.53)

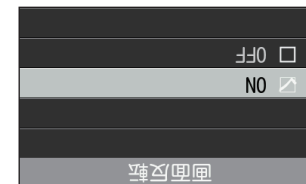
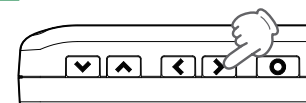
1-3 [▼]ボタンを数回押して[画面反転]を選択し、[▶]ボタンを押す



1-2 [▼]ボタンを数回押して[画面]を選択し、[▶]ボタンを押す



1-4 [▶]ボタンを押す



画面が反転します。

※ 操作ボタンも反転するためご注意ください。

初期値について

本機の初期値は次のようになっています。

設定項目	初期値	説 明	ページ
かんたんモード切替	かんたんモード	設定を変更できる項目が「モード」「明るさ」「レーダー警報音」となっています。それ以外の設定項目は初期値で固定となります。 ※ 詳細な設定を変更したい場合は、通常モードに切り替えてください。	53
モード	ノーマル	機能同士のバランスを重視したモードです。	54 65
待受画面	時計	待受画面に時計が表示されます。	38
受信感度モード	AAC / ASS	時速 30km 未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また、時速 30km 以上では、速度が上がるにたがって段階的に受信感度が上がっていきます。	70
レーダー警報音	メロディ 1	警報の発生時、オリジナルのメロディが流れます。	54 73
無線警報音	ボイス	各種無線の電波を受信すると、その無線の種類を音声でお知らせします。	73
I キャンセル	ON	誤警報を行うと、同じ地点の 2 回目以降の警報を自動でキャンセルします。	67
道路選択	オート	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路の GPS ターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※ 一般道と高速道が並行 / 交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。	70
リラックスチャイム	2 時間	本機の連続電源 ON で、2 時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか？』と音声流れます。	73
時報	ON	毎時、正時に『午前 (午後) 〇〇時です。』と音声流れます。	73
明るさ	普通	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「普通」になっています。	54 72

※ 初期値を変更する場合は、 P.53～74「カスタマイズして使う」を参照ください。

電源 ON/OFF

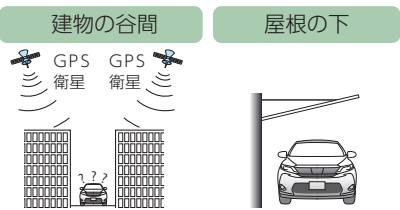
1. 電源 ON する

1-1 車両のエンジンを ON する



本体の電源も連動して ON になります。
必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。
※ GPS の測位状況や無線の受信によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
※ GPS が非測位時は時計が赤くなります。
※ 初めて OBDII アダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。

■ 次のような場合、電源 ON してから『測位しました』と音声流れるまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。
その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源 OFF する

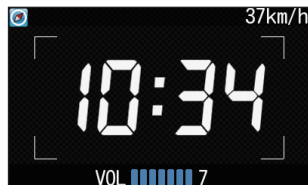
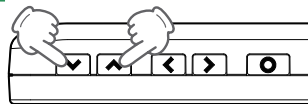
2-1 車両のエンジンを OFF する

本体の電源も連動して OFF になります。
※ 車種によってはエンジンキーを OFF にしても、電源 OFF にならない場合があります。その場合は、本体から電源コードを外してください。
※ OBDII アダプターで配線を行った場合、エンジンキーを OFF にしたあと、電源 OFF になるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、ODBI アダプターで接続した場合は、本体から電源コードを外さないでください。

音量

1. 音量の調整

1-1 音量の調整



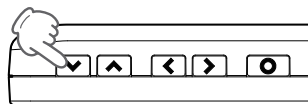
待受画面で[▼][▲]ボタンを押すと音量を調整できます。
『ピッ』という確認音で音量を確認してください。
※ VOL7(最大)からさらに[▲]ボタンを押すと『ブブッ』と鳴ります。

マナーモード

画面表示を消し、音声および画面によるすべての警報を行わないようにすることができます。

1. マナーモードにする

1-1 待受画面で[▼]ボタンを押す



[▼]ボタンを数回押し、VOL0(消音)からさらに[▼]ボタンを押します。



マナーモードになり、約2秒後に画面表示が消えます。
※ 解除する場合は、[▲]ボタンを押してください。

マイキャンセル

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(● P.32)、アイキャンセル(● P.67)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54識別(● P.45)や無線14バンド識別(● P.50)・ベストパートナー6識別(● P.52)の警報はキャンセルできません。

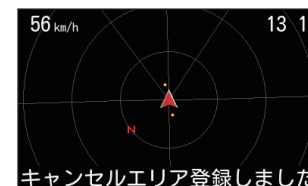
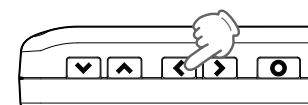
1. マイキャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点で[●]ボタンを長押しする



※ 画面下のメッセージは約10秒間表示します。

1-2 約10秒以内に[◀]ボタンを押す



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録します。
※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

・マイキャンセルエリアに入ると…

登録したマイキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに侵入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

2. マイキャンセルエリアを解除する

2-1 マイキャンセルエリア登録された地点で上記手順「1-1 ～ 1-2」を行う

「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。
※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは解除できません。

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

※登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●P.67)、マイキャンセルエリア(●P.31)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

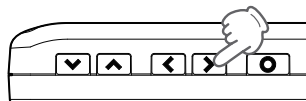
1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点で[○]ボタンを長押しする



※画面下のメッセージは約10秒間表示します。

1-2 約10秒以内に[➡]ボタンを押す



「マイエリアをセットしました」とお知らせし登録します。

※GPSを受信できていない場合、マイエリアは登録できません。

・マイエリアに近づくとき…

手前約1km / 500mと通過時の3段階で警告します。

(手前約1km(500m)のとき…)

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

※GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先 / 200m先 / 100m先 / すぐ先』とお知らせすることがあります。

2. マイエリアを解除する

2-1 マイエリア登録された地点で上記手順「1-1 ~ 1-2」を行う

「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

※すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●P.74)を参照ください。

1. 今すぐ地図表示サービス(無料)について

本機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

※通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。

※バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。

※一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ①「QRコードを表示する」を行い、QRコードを表示させます。
- ②バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
- ③携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

■QRコードを表示する

※必ず、車両を止めてから操作してください。

※表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。

※GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。

1-1 待受画面で[○]ボタンを長押しする



※画面下のメッセージは約10秒間表示します。

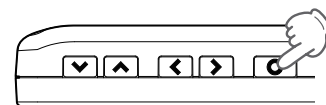


QRコード、緯度、経度を表示します。

※各ボタンを押すと待受画面に戻ります。

※表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。

1-2 約10秒以内に[○]ボタンを押す



2. 地図閲覧サービス(無料)について

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- ※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ※ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ※ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ①携帯電話専用サイトにアクセスする。(http://www.yupiteru-itymap.com/mobile/)
 - ②緯度(N)・経度(E)を表示させる。
 - ③携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。
 - ④携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。
- ※ PC専用サイトでは緯度(N)・経度(E)は入力することができません。

・ PC専用サイト
http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

詳しくは、弊社ホームページ「ity.MAPサービス」
(http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html)をご確認ください。

3. ログ機能[特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(約20.5時間分)を本機に記録します。記録したデータは、市販品のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

➡ P.35「① 走行データを記録する」→ ➡ P.36「② 走行データをコピーする」→ ➡ P.36「③ 走行軌跡を確認する」の手順で行ってください。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

- ※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。
- ※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。
- ※ 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- ※ ログの残量表示は待受画面の画面左上にパーセント表示されます。([レーダースコープ][OFF]の場合は除く)
- ※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- ※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日特別の保存や管理は行っておりません。
- ※ 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(➡ P.74)を行うまで、100%の表示は残ります。
- ※ 走行記録を消去する場合は、データ消去(➡ P.74)を行ってください。

・下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

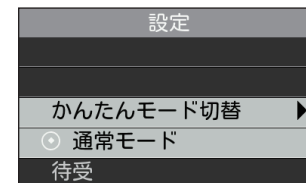
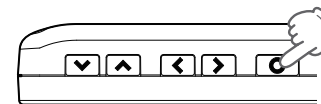
OS : Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)、Vista (32bit版/64bit版)、XP (32bit版)
※ 64bit版は未対応、2000。

・ご用意いただくもの

- ※ microSDカード(4GB以上、32GB以下のSDHCカード)
- ※ SDカードリーダー(使用するSDカードに対応のもの)
- ※ GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ※ 弊社ホームページ(http://www.yupiteru.co.jp)をご覧くださいの上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter.exe)をダウンロードしてください。

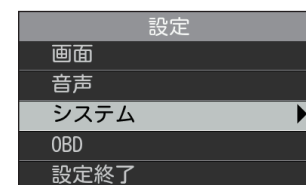
■ ① 走行データを記録する

3-1 待受画面で[○]ボタンを押す

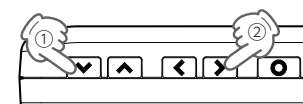


※ [かんたんモード]の場合は、[通常モード]に切り替えてください。(➡ P.53)

3-2 [▼]ボタンを数回押して[システム]を選択し、[▶]ボタンを押す

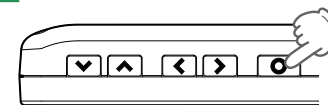


3-3 [▼]ボタンを押して[ON]を選択し、[▶]ボタンを押す



ログ機能が[ON]になります。

3-4 [○]ボタンを押す



待受画面に戻ります。
ログの記録容量を画面左上に表示します。

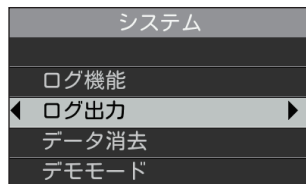
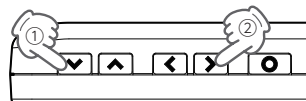
3-5 走行して走行データを記録する

■ ② 走行データをコピーする

3-1 市販品のSDカードを本体に装着する(☞ P.13)

3-2 ☞ P.35 手順「3-1 ～ 3-2」を行う

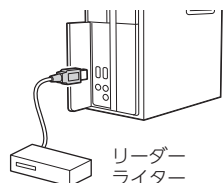
3-3 [▼] ボタンを押して[ログ出力]を選択し、[▶] ボタンを押す



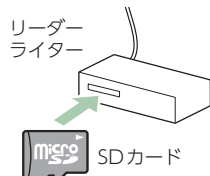
走行データがSDカードにコピーされます。

■ ③ 走行軌跡を確認する

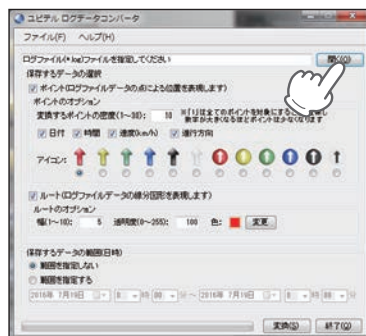
3-1 リーダーライターをパソコンに接続する



3-2 走行データをコピーしたSDカードをリーダーライターに接続する



3-3 ユピテルログデータコンバータを起動する



「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.Log)を選択する。

3-4 保存する



「変換」ボタンをクリックしお好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

3-5 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

4. オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。各種更新サービスについての詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY Yupiteru <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

1. 待受画面

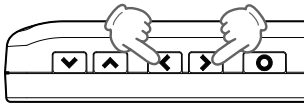
警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、9種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。別売品のOBDⅡアダプター（ P.12）で接続した場合に、より多くの情報が表示できるようになります。



※ GPSを測位していない場合、「レーダースコープ」「カレンダー」「時計」「速度」「エコドライブ」は表示されず、「測位情報」が表示されます。
※ 日付および時刻は、GPS測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
※ GPS非測位時は右上の時計色が赤色になります。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
※ 時刻の表示は、24時間表示です。
※ 走行速度はGPSの情報に基づき表示します。別売品のOBDⅡアダプターで接続した場合は、OBDⅡ車速情報に基づき表示します。また、車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
※ OBDⅡ接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

2. 待受画面の変更方法

1-1 待受画面で[◀]ボタン、または[▶]ボタンを押す



[◀]ボタン、または[▶]ボタンを押すたびに、待受画面が順番に切り替わります。

3. 待受画面の説明

■ ターゲット表示について

警報時には、画面下に情報をお知らせします。レーダースコープでは自車とターゲットの位置関係がわかります。

※ 待受画面「OFF」では表示しません。



■ アイコン表示について（画面左上に表示）

※ 待受画面が「レーダースコープ」「OFF」の場合は表示されません。



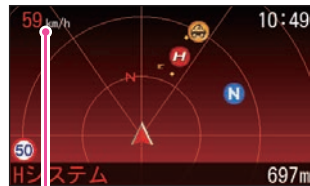
No.	表示名	アイコン	表示の意味
①	方位磁針表示		衛星を測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。（停車状態のままでは針が青色で動きません。）
②	GPSサーチ中表示		電源をON後に衛星を測位するまでの間や、測位した後一定の間衛星を受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接近受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅します。
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。 左：駐車最重点エリア、右：駐禁重点エリア
⑥	車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリア内で表示します。
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。

画面表示について

レーダースコープ

現在地周辺の、本機に登録されたターゲットに近づくと、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。

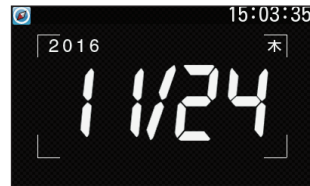
- ※ 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ※ 表示される時刻・速度・距離は、衛星の受信状況により、ずれることがあります。
- ※ 走行速度やターゲットまでの距離、自転車アイコンは、衛星やVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合があります。
- ※ 衛星の電波を受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- ※ 画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。



速度オーバーの場合は、走行速度が赤くなります。

カレンダー

日付を表示します。
※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



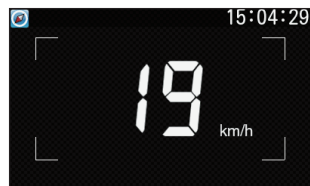
時計

現在時刻を表示します。右上に速度表示します。
※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



速度

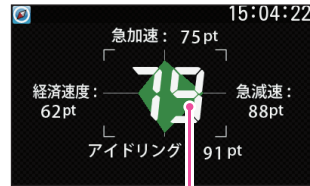
車両速度を表示します。
※ 速度の数値は衛星の受信により合わない場合があります。



エコドライブ

急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。

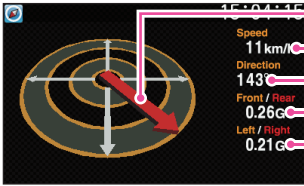
- ※ GPS測位できない場合は、各項目の採点はいりません。
- ※ GPS電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。
- ※ 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
- ※ エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントが初期値の70ptになります。(P.74)
- ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
- ※ データ消去を行うと、元には戻せませんので、ご注意ください。
- ※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。



総合値

急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

Gセンサー



- 加速度：加速度の方向と強さを矢印で表示します。
- 走行速度
- 進行方向：北(0°)に対して角度を表示します。
- 前後加速度
- 左右加速度

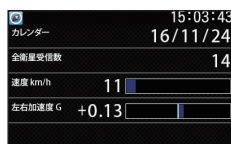
※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

プリセットA / B

プリセットは、それぞれ配置、項目を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。A/Bそれぞれプリセットし、画面選択で呼び出すことができます。



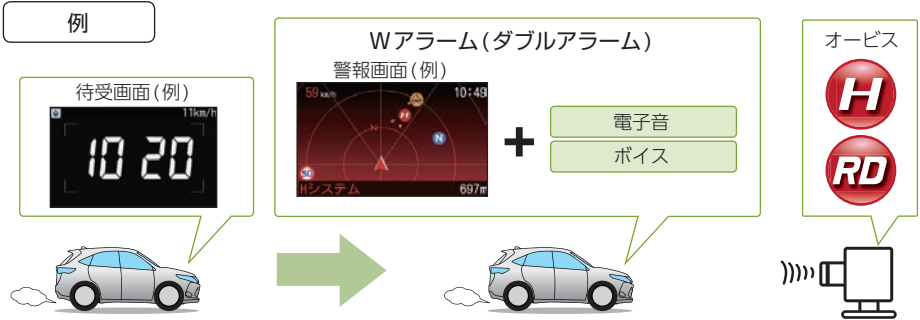
<プリセットA>



<プリセットB>

取締りレーダー波を受信すると…

警報・告知を行う待受画面に切り替わります。
※「表示切替距離」(P.59) で、「切替なし(待受固定)」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



1. Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

2. オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

3. 後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

4. ミュート機能

警報中に[▼]ボタンを押すと、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。解除する場合は、[▲]ボタンを押してください。

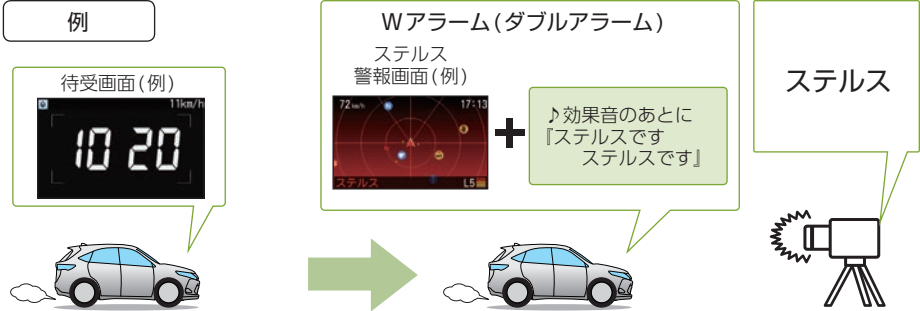
5. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

6. ステルス波を受信すると

警報を行う待受画面と専用の警報ボイスで警告します。
※「表示切替距離」(P.59) で、「切替なし(待受固定)」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音(メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。

7. レーダー波3識別(iDSP)について

レーダー探知機機能は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal ProcessingTechnology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(P.67)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]
[アイキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



※ レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPS ターゲットに接近すると…

1. GPSターゲット警告

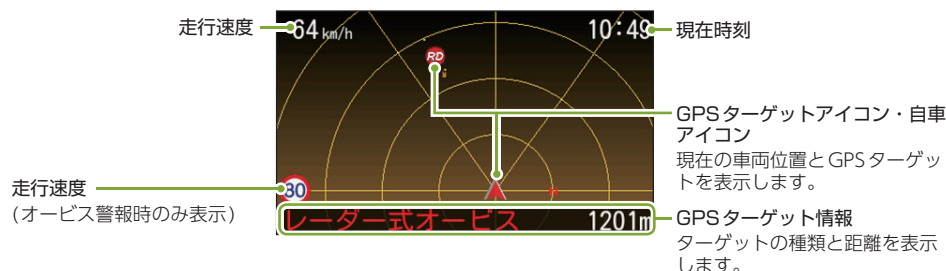
本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、待受⇄レーダースコープ切替(1000m/500m)(●P.59)のときは、待受画面からターゲットの存在をお知らせするレーダースコープに切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。

※「表示切替距離」(●P.59)で、[切替なし(待受固定)]を選択の場合は、画面が切り替わりません。

(例)時計



(例)レーダースコープ



警告の注意度に応じて、画面の背景色が変わります。

※ 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警告時に表示します。

※ 表示される時刻・速度・距離はGPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。

※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。

※ GPS非測位時、推定速度は表示しません。

警報ボイスについて

つづく

1. 左右方向識別ボイス

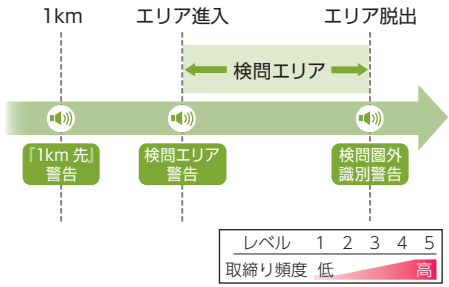
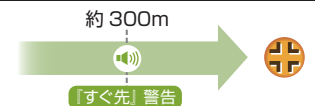
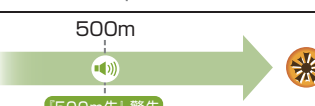
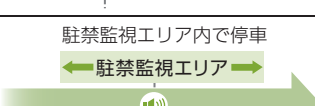
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

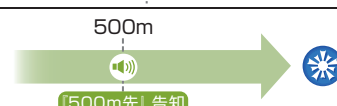
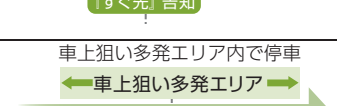
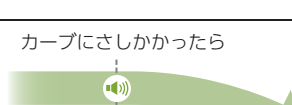
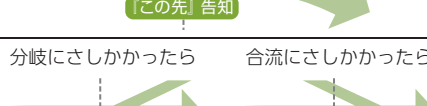
※「右方向」、「左方向」のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

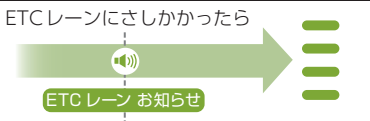
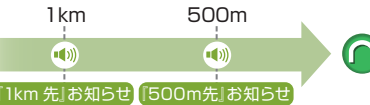
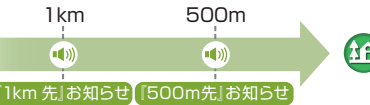
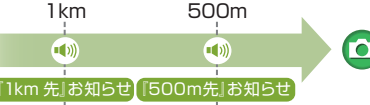
※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。



ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)				
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。				
オービス5段階警報	2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過
LC (ループコイル)	「2km 先」警告	「1km 先」警告	「500m 先」警告		通過告知
LH (新Hシステム)		制限速度告知	カメラ位置告知	直前走行速度告知	
H (LHシステム)		速度超過告知		速度超過告知	制限速度切替告知
RD (レーダー式)(小型オービス)					
※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。					
取締りエリア	1km	エリア進入	エリア脱出		
(移動オービス)		取締りエリア警告	取締り圏外識別警告		
(速度取締り)(追尾式取締り)	「1km 先」警告				
(交差点取締り)	制限速度告知				
(その他取締り)					
	レベル 1 2 3 4 5 取締り頻度 低 高				
STOP (一時停止取締り)	約 100m 「すぐ先」警告 STOP				
	※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。 ※ トンネル内追尾式取締りエリア、「トンネル出口直後速度取締りエリア」から脱出した場合は、取締り圏外識別警告は行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない取締りエリアは、制限速度告知を行いません。				

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
検問エリア	1km エリア進入 エリア脱出  ※ 1km 手前では左右方向もお知らせします。 ※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。 ※ (検問エリア内で点灯) ※ 待受画面が「レーダースコープ」では表示しません。	
(シートベルト検問)		
(携帯電話検問)		
(飲酒検問)		
(その他の検問)		
(交差点監視ポイント)	約 300m  「すぐ先」警告	
(信号無視抑止システム)	約 300m  「すぐ先」警告	
(高速交通警察隊)	500m  「500m先」警告	
(駐車監視エリア)	駐車監視エリア内で停車  「駐車最重点(重点)エリア 警告」 ※ 本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車するとお知らせします。	
(一時停止注意ポイント)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。 ※ 東京都23区/名古屋市内/大阪市内の一時停止ポイントが登録されています。	
(マイエリア)	1km 500m 通過  「1km 先」警告 「500m先」警告 通過告知 ※ 移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。	
(ゾーン30エリア)	エリア告知  ※ ゾーン30エリアに入るとお知らせします。	

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
(ラウンドアバウト)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。	
(Nシステム)	約 300m  「すぐ先」告知 ※ Nシステム：自動車ナンバー読み取り装置	
(交通監視システム)	約 300m  「すぐ先」告知 ※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど	
(警察署)	500m  「500m先」告知	
(交番)	500m  「500m先」告知	
(事故多発エリア)	約 300m  「すぐ先」告知	
(車上狙い多発エリア)	車上狙い多発エリア内で停車  「車上狙い多発エリア 告知」 ※ 本機に登録されている車上狙い多発域内で停車すると、お知らせします。	
(踏切)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。 ※ 本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。	
(急(連続)カーブ)	カーブにさしかかったら  「この先」告知 ※ 急(連続)カーブに近づくお知らせします。	
(分岐(合流)ポイント)	分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら  「この先」分岐告知 「この先」合流告知 ※ GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。	

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
(ETCレーン)	 ETCレーンにさしかかったら ETCレーン お知らせ	※ ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。
	※ 実際の料金所のブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は実際の標識にしたがって進入してください。	
 (サービスエリア)  (パーキングエリア)  (ハイウェイオアシス)	 1km 「1km先」お知らせ 「スマートインターチェンジ」お知らせ 「ガステーション」お知らせ SA PA HA	※ サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
 (長い(連続)トンネル)	 1km 500m 「1km先」お知らせ 「500m先」お知らせ	
 (ハイウェイラジオ) (高速道路のみ)	 受信エリアお知らせ 受信エリア	※ ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。
(県境) (高速道路および主要一般道路のみ)	 県境お知らせ ○○県 □□県	※ 県境に接近するとお知らせします。 ※ 全ての道路の県境が登録されているわけではありませんのであらかじめご了承ください。
 (道の駅)	 1km 500m 「1km先」お知らせ 「500m先」お知らせ	
 (ビューポイント パーキング)	 1km 500m 「1km先」お知らせ 「500m先」お知らせ	
 (駐禁エリア付近 駐車場)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている駐車場のアイコンを表示します。
 (消防署)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている消防署のアイコンを表示します。
 (公衆トイレ)	サイレント警報 レーダースコープ上のアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。

●GPS ターゲット一覧

ターゲットの種類	画像表示
ループコイル	ループコイル
新Hシステム	LHシステム
LHシステム	Hシステム
レーダー式	レーダー式オービス
小型オービス	小型オービス
移動オービス	取締エリア
速度取締り	
追尾式取締り	
交差点取締り	
その他取締り	
一時停止取締り	検問エリア
シートベルト検問	
携帯電話検問	
飲酒検問	
その他検問	
交差点監視ポイント	交差点監視ポイント
信号無視抑制システム	信号無視抑止システム
高速交通警察隊	
駐車監視エリア	駐禁最重点エリア
() ^{※1}	駐禁重点エリア
一時停止注意ポイント	
マイエリア	マイエリア
ゾーン30エリア	ゾーン30
ラウンドアバウト	

※1：待受画面が「レーダースコープ」では、アイコンは表示しません。

ターゲットの種類	画像表示
Nシステム	Nシステム
交通監視システム	交通監視システム
警察署	警察署
交番	
事故多発エリア	事故多発エリア
車上狙い多発エリア	車上狙い多発エリア
() ^{※1}	
踏切	
急(連続)カーブ	急カーブ
分岐(合流)ポイント	分岐ポイント
ETCレーン	ETCレーン
サービスエリア	サービスエリア
パーキングエリア	パーキングエリア
ハイウェイオアシス	ハイウェイオアシス
長い(連続)トンネル	長いトンネル
ハイウェイラジオ	ハイウェイラジオ
県境	県境
VIEWPOINT パーキング	VIEW POINTパーキング
駐車場	駐車場
消防署	
公衆トイレ	

衛星

Xバンド
Kバンド

無線14バンド

=

17
BAND

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線 14 バンド受信機能

無線の種類	説 明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 🔊『カーロケ近接受信です』 🔊『カーロケ遠方受信です』 🔊『カーロケ圏外です』* ※ カーロケ無線の発信源が遠ざかった可能性が高いとき	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締り無線 🔊『取締り無線です』	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線 🔊『デジタル無線です』	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締り特小無線 🔊『特小無線です』	取締り現場では、取締り無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締りをしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。
署活系無線 🔊『署活系無線です』	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話 🔊『警察電話です』	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

無線の種類	説 明
警察活動無線 🔊『警察活動無線です』	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 🔊『レッカー無線です』	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 🔊『ヘリテレ無線です』	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 🔊『消防ヘリテレ無線です』	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 🔊『消防無線です』	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 🔊『新救急無線です』	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 🔊『高速道路無線です』	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 🔊『警備無線です』	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz 帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[圏外識別：特許 第3780262号]

■ ベストパートナー機能を使用するには…

モード (P.54、65) をすべて「ノーマル」「スペシャル」「オールオン」のいずれかにします。

※ モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたしません。

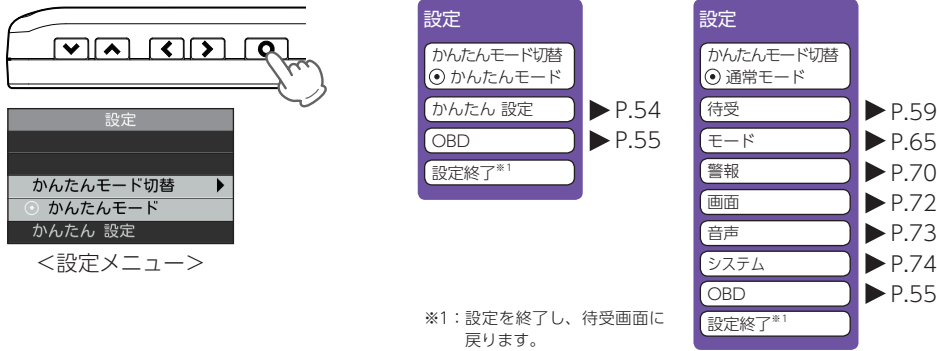
※ モードを「マニュアル」にした場合、「カーロケ」「取締無線」「デジタル無線」の設定を OFF にすると一部のベストパートナー機能がはたしません。(P.67)

無線の種類		説 明
並走追尾注意	『スピード注意』 (2 回くり返し)	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意	『遠ざかりました』 (2 回くり返し)	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締注意	『取締り注意』 (2 回くり返し)	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき
検問注意	『検問注意』 (2 回くり返し)	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別	『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別	『カーロケ圏外です』	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

設定メニューの表示方法

待受画面で [○] ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。

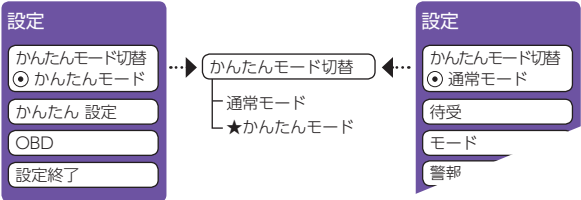
※ 設定メニューを表示中に約 1 分間操作をしないと自動的に待受画面に切り替わります。



かんたんモード切替 (共通)

1. [かんたんモード切替] の説明

本機には詳細に設定できる「通常モード」と、かんたん設定のシンプルな「かんたんモード」があります。使用用途に合わせて切り替えてください。



★：初期値

2. かんたんモード切替手順

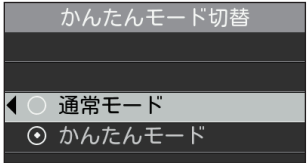
■ 例：「かんたんモード」から「通常モード」へ切り替える場合

2-1 設定メニューを表示する
(P.54「設定メニューの表示方法」)

2-2 [➡] ボタンを押す



2-3 [⬆] ボタンを押す [⬆] ボタンを押す
[通常モード] を選択し、[➡] ボタンを押す



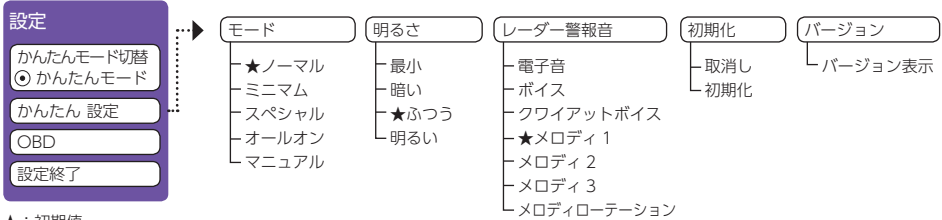
「通常モードに設定」と表示され通常モードに切り替わり、自動で設定メニューに戻ります。

1. [かんたん 設定]の説明

本機の設定がかんたん設定のみとシンプルになります。詳細に設定したい場合は、通常モードで設定してください。(P.53)

※「通常モード」から「かんたんモード」に切り替えると、かんたん設定にない項目(「モード」「明るさ」「レーダー警報音」以外)は初期値で固定になります。

※「通常モード」「かんたんモード」の共通の項目(「モード」「明るさ」「レーダー警報音」)は、設定を引き継ぎます。



★：初期値

■ モード

かんたんモードでは、プリセットが4種類とマニュアルモードが用意されています。お好みに応じて変更してください。

モードの種類	説 明
ノーマル	バランスを重視したモードです。
ミニマム	レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけをONに設定します。
スペシャル	取締に関する項目を重視した内容に設定します。
オールオン	すべての機能をONにします。
マニュアル	マニュアル設定で設定した内容になります。(P.67、68、69)

■ 明るさ

画面表示の明るさを[最小][暗い][ふつう][明るい]4段階で切り替えることができます。

■ レーダー警報音

レーダー波受信時の警告音を選択できます。

電子音	『ピピピピッ...』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ 1→メロディ 2→メロディ 3の順)で警報します。

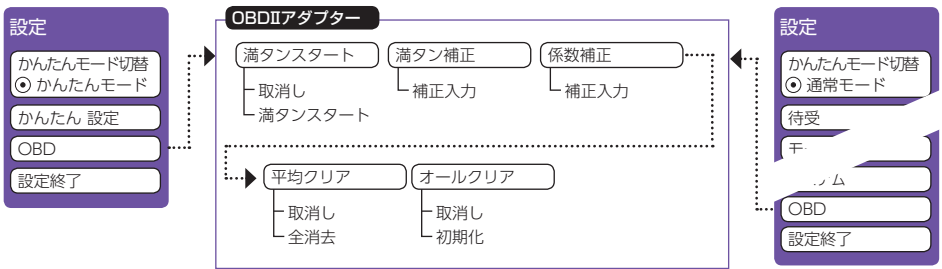
■ 初期化

「設定」「マイエリア」「マイキャンセル」「ログ」「エコポイント」を工場出荷状態に初期化します。
※ 通常モードも同様に初期化します。また、初期化すると元に戻せませんのでご注意ください。
※ OBDIIアダプターより取得したデータは削除されません。OBDの項目のオールクリアでデータ消去を行ってください。

■ バージョン

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)が表示されます。

1. [OBD]の説明



■ OBD

ご購入状態のままでは走行距離/給油量で計算した燃費(実燃費)と表示部に表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」、「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、レーダー探知機機能のOBDIIアダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。

■ 満タンスタート (P.56)、満タン補正 (P.57)

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

■ 係数補正 (P.58)

係数補正は、燃費計算を行う上でのOBD情報の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

また、すでにOBDIIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

■ 平均クリア

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットできます。
「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

■ オールクリア

オールクリアは、OBDIIアダプターから受け取った車両に関連するレーダー探知機内の数値をリセットします。(車両側OBDIIに影響はありません。)
オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。
※ オールクリアを行った場合、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

2. 満タンスタート

※ 車両が停止した状態で操作してください。

2-1 満タン給油する



油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

2-2 設定メニューを表示する
(P.53)2-3 [▼] ボタンを数回押して
[OBD] を選択し、[○]
ボタンを押す

設定
かんたんモード切替
かんたん 設定
OBD ▶
設定終了

OBD
◀ 満タンスタート ▶
満タン補正
係数補正

2-4 [▶] ボタンを押す

満タンスタート
◀ 取消し
満タンスタート

2-5 [▼] ボタンを押して[満タンスタート]選択し、[▶] ボタンを押す

満タンスタート
取消し
◀ 満タンスタート

満タンスタート
満タンスタートしました

2-6 車両のトリップメーターをリセットし走行する

OBD
満タンスタート
◀ 満タン補正 ▶
満タン補正進捗率 100%
係数補正

満タン補正進捗率が100%になるまで走行してください。

※ 満タン補正率が100%になっても走行し続けることで、それだけ補正制度が向上します。

3. 満タン補正

※ 満タンスタート後に行ってください。

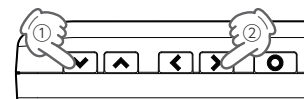
3-1 満タン給油する



前回給油時の油面位置まで給油してください。

3-2 P.56手順「2-2 ~ 2-3」を行う

3-3 [▼] ボタンを押して[満タン補正]を選択し、[▶] ボタンを押す



OBD
満タンスタート
◀ 満タン補正 ▶
満タン補正進捗率 100%
係数補正

3-4 距離を入力する

燃費補正
距離 202.0 km
燃料 2.8 L
補正前燃費 20.8 km/L
補正後燃費 25.7 km/L

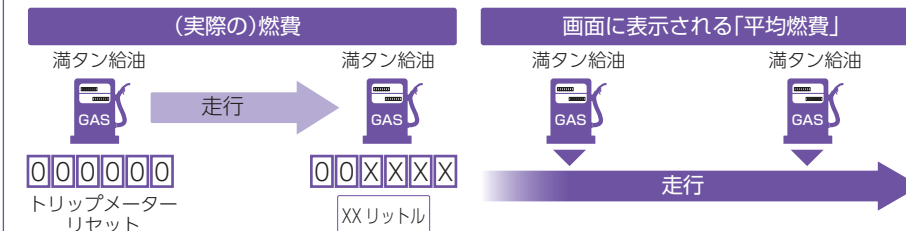
[▼][▲] ボタンを押して走行距離を入力し[▶] ボタンを押してください。

3-5 燃費を入力する

燃費補正
距離 202.0 km
燃料 42.4 L
補正前燃費 20.8 km/L
補正後燃費 30.0 km/L
○長押しでセット

[▼][▲] ボタンを押して走行距離を入力し[○] ボタンを長押ししてセットしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



4. 係数補正

※ あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。

※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

3-1 P.56手順「2-2～2-3」を行う

3-2 [▼]ボタンを数回押して[係数補正]を選択し、[▶]ボタンを押す



OBD	
満タンスタート	
満タン補正	
係数補正	▶
平均クリア	
オールクリア	



係数補正	
距離係数	1000
燃料係数	1000
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	20.8 km/L
○長押しでセット	

3-3 距離係数を入力する

係数補正	
距離係数	1000
燃料係数	1000
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	20.8 km/L
○長押しでセット	

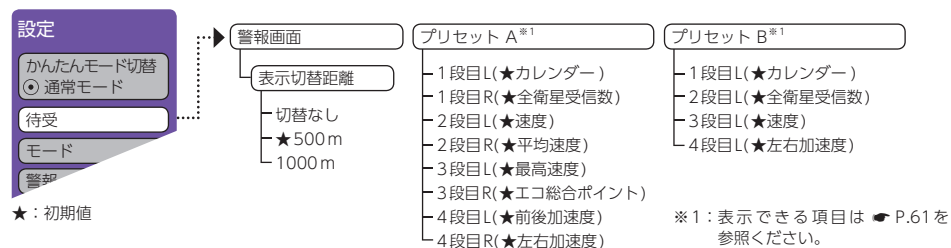
[▼][▲]ボタンを押して距離係数を入力し[▶]ボタンを押してください。

3-4 燃費係数を入力する

係数補正	
距離係数	1000
燃料係数	1000
補正前燃費	20.8 km/L
補正後燃費	20.8 km/L
○長押しでセット	

[▼][▲]ボタンを押して走行距離を入力し[○]ボタンを長押ししてセットしてください。

1. [待受]の説明



■ 警報画面 / 表示切替距離

GPS ターゲットに接近したときに、待受画面からレーダースコープに切り替わるタイミングを変更できます。

表示切替の種類	説明
切替なし	待受画面を表示したまま、レーダースコープに切り替わりません。 ※ 待受画面がレーダースコープの場合は画面は変化しません。
500m	ターゲットまで500mの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。
1000m	ターゲットまで1000mの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。

■ プリセット A / プリセット B

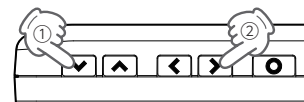
プリセット画面で表示する項目をプリセットごとに設定できます。

2. プリセット表示項目変更

例：プリセット A の 1 段目 R を「GPS 受信数」に変更する場合

2-1 設定メニューを表示する (P.53)

2-2 [▼]ボタンを押して[待受]を選択し、[▶]ボタンを押す

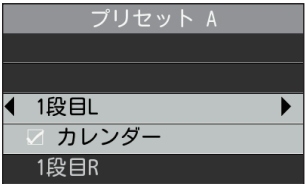


設定	
かんたんモード切替	
待受	▶
モード	
警報	

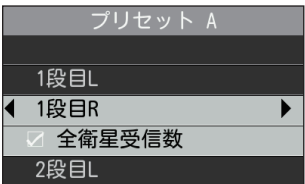
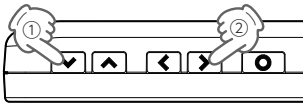
2-3 [▼]ボタンを押して[プリセット A]を選択し、[▶]ボタンを押す

待受	
警報画面	
プリセット A	▶
プリセット B	

待受	
警報画面	
プリセット A	
プリセット B	



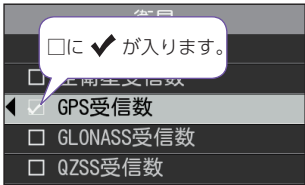
2-4 [▼] ボタンを押して[1 段目 R] を選択し、[▶] ボタンを押す



2-5 [▼] ボタンを数回押して[衛星] を選択し、[▶] ボタンを押す



2-6 [▼] ボタンを押して[GPS 受信数] を選択し、[▶] ボタンを押す



2-7 [○] ボタンを押す



待受画面に戻ります。

●プリセットA、プリセットB表示項目

プリセットA、プリセットB画面内で選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		現在の速度
	2	平均速度		今回の速度の平均速度
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道平均速度
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道平均速度
	5	最高速度		今回の最高速度
	6	5秒速度	要	発車から5秒後の速度
	7	平均5秒速度	要	発車から5秒後の速度の平均値
	8	最高5秒速度	要	発車から5秒後の速度の最高値
走行時間	9	走行時間	要	今回の停車していない時間
	10	運転時間	要	今回の運転時間
	11	停車時間	要	今回の停車時間
走行比率	12	走行比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	13	1-20km/h 走行比率	要	1-20km/h の範囲での走行時間
	14	20-40km/h 走行比率	要	20-40km/h の範囲での走行比率
	15	40-60km/h 走行比率	要	40-60km/h の範囲での走行比率
	16	60-80km/h 走行比率	要	60-80km/h の範囲での走行比率
	17	80-100km/h 走行比率	要	80-100km/h の範囲での走行比率
	18	100km/h 以上走行比率	要	100km/h 以上の範囲での走行比率
	19	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	20	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率
	21	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率
エコドライブ 1	22	エコ総合ポイント		エコドライブ画面の総合ポイント
	23	エコ加速ポイント		エコドライブ画面の加速ポイント
	24	エコ減速ポイント		エコドライブ画面の減速ポイント
	25	エコ経済速度ポイント		エコドライブ画面の経済速度ポイント
	26	エコアイドルポイント		エコドライブ画面のアイドルポイント
	27	アイドリング停止時間 ^{*1}	要	エンジン停止時間
	28	最小アイドル停止時間 ^{*1}	要	最小エンジン停止時間
	29	最大アイドル停止時間 ^{*1}	要	最大エンジン停止時間
	30	アイドリング時間	要	車速0でエンジンが掛かっていた時間
エコドライブ 2	31	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数
	32	アイドリング停止回数 ^{*1}	要	エンジン停止回数
	33	0-10秒停止回数 ^{*1}	要	0-10秒の停止回数
	34	10-20秒停止回数 ^{*1}	要	10-20秒の停止回数

待受 (通常モード)

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エコドライブ 2	35	20-30 秒停止回数 ^{*1}	要	20-30 秒の停止回数
	36	30 秒以上停止回数 ^{*1}	要	30 秒以上の停止回数
	37	0-10 秒停止比率 ^{*1}	要	0-10 秒の停止比率
	38	10-20 秒停止比率 ^{*1}	要	10-20 秒の停止比率
	39	20-30 秒停止比率 ^{*1}	要	20-30 秒の停止比率
	40	30 秒以上停止比率 ^{*1}	要	30 秒以上の停止比率
加速度	41	前後加速度		前後方向の加速度
	42	左右加速度		左右方向の加速度
	43	最大加速度		最大の加速度
	44	最大減速度		最大の減速度
	45	最大左右加速度		最大の左右加速度
加速時間	46	0-20km/h 加速時間	要	0-20km/h 加速にかかった時間
	47	0-40km/h 加速時間	要	0-40km/h 加速にかかった時間
	48	0-60km/h 加速時間	要	0-60km/h 加速にかかった時間
	49	0-80km/h 加速時間	要	0-80km/h 加速にかかった時間
	50	0-100km/h 加速時間	要	0-100km/h 加速にかかった時間
	51	0-20km/h 平均加速	要	0-20km/h 加速にかかった平均時間
	52	0-40km/h 平均加速	要	0-40km/h 加速にかかった平均時間
	53	0-60km/h 平均加速	要	0-60km/h 加速にかかった平均時間
	54	0-80km/h 平均加速	要	0-80km/h 加速にかかった平均時間
	55	0-100km/h 平均加速	要	0-100km/h 加速にかかった平均時間
圧力	56	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値
	57	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値
	58	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値
	59	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値
	60	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値
	61	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値
燃費	62	瞬間燃費	要	瞬間の燃費
	63	今回燃費 (注 1)	要	今回走行時の平均燃費
	64	最大今回燃費 (注 1)	要	今回走行時の最大燃費
	65	平均燃費 (注 1)	要	OBDIIアダプターで接続後の平均燃費
	66	一般道平均燃費 (注 1)	要	OBDIIアダプターで接続後の一般道平均燃費
燃費	67	高速道平均燃費 (注 1)	要	OBDIIアダプターで接続後の高速道平均燃費
	68	生涯燃費 (注 2)	要	OBDIIアダプターで接続後の平均燃費
	69	移動平均燃費	要	16km 区間での平均燃費
	70	最大移動平均燃費	要	16km 区間での最大移動平均燃費

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
燃料	71	燃料流量	要	燃料の流量
	72	平均燃料流量	要	今回走行時での平均燃料流量
	73	最大燃料流量	要	今回走行時での最大燃料流量
	74	残燃料	要	残りの燃料
	75	燃料レベル	要	残りの燃料レベル (割合)
	76	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料
	77	消費燃料 (注1)	要	OBDIIアダプターで接続後の消費燃料
	78	生涯消費燃料 (注2)	要	OBDIIアダプターで接続後の消費燃料
距離	79	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離
	80	走行距離 (注1)	要	OBDIIアダプターで接続後の走行距離
	81	生涯走行距離 (注2)	要	OBDIIアダプターで接続後の走行距離
	82	今回エンジン走行距離	要	今回走行時のエンジン走行距離
	83	生涯エンジン走行距離	要	OBDIIアダプターと接続後のエンジン走行距離
温度	84	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度
	85	最高エンジン水温	要	エンジン冷却水の最高温度
	86	吸気温	要	エンジンの吸気温度
	87	最高吸気温	要	エンジンの最高吸気温度
	88	外気温	要	外気の温度
	89	最高外気温	要	外気の最高温度
	90	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度
	91	最高エンジン油温	要	エンジンオイルの最高温度
エンジン	92	スロットル開度	要	エンジンのスロットル開度
	93	平均スロットル開度	要	今回走行時の平均スロットル開度
	94	最大スロットル開度	要	今回走行時の最大スロットル開度
	95	エンジン負荷	要	現在のエンジン負荷
	96	平均エンジン負荷	要	今回走行時の平均エンジン負荷
	97	最大エンジン負荷	要	今回走行時の最大エンジン負荷
	98	MAF	要	エンジンに吸気される空気量
	99	INJ	要	インジェクション噴射時間
	100	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期
	101	回転数	要	エンジン回転数
	102	平均回転数	要	今回走行時の平均回転数
	103	最高回転数	要	今回走行時の最高回転数
衛星	104	全衛星受信数		現在の全衛星受信数
	105	GPS 受信数		現在の GPS 受信数
	106	GLONASS 受信数		現在の GLONASS 受信数
	107	QZSS 受信数		現在の QZSS 受信数
	108	SBAS 受信数		現在の SBAS 受信数
	109	GALILEO 受信数		現在の GALILEO 受信数

待受 (通常モード)

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
その他	110	OFF		項目を表示しません
	111	カレンダー		カレンダー
	112	バッテリー電圧※4	要	現在のバッテリー電圧値を表示します
	113	バッテリー電流※4	要	現在のバッテリー電流値を表示します
HV	114	HV システムパワー※2	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	115	HV Fr モータパワー※2	要	フロントモーターの出力を表示します。
	116	HV Rr モータパワー※2	要	リヤモーターの出力を表示します。
	117	HV Rr トルク配分※2	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	118	HV バッテリー電圧※2	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	119	HV バッテリー電流※2	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	120	HV 補機バッテリー電圧※2	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	121	HV 補機バッテリー電流※3	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	122	HV 全電池容量※2	要	バッテリーの充電率を表示します。
	123	HV エンジンパワー※2	要	エンジンの出力を表示します。
	124	HV 昇圧後電圧※2	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	125	HV アクセル開度※2	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※ アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	126	HV エアコン消費電力※2	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	127	HV ジェネレータ発電量※2	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	128	HV 滑空※2	要	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」で表示します。

注1：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。

注2：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。

※ 1：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD-HVTM、OBD12-MⅢ) 装着時のみ項目名が切り替わります。

27：今回アイドル停止時間→今回エンジンストップ時間
 28：最小アイドル停止時間→最小エンジンストップ時間
 29：最大アイドル停止時間→最大エンジンストップ時間
 32：アイドリング停止回数→今回エンジンストップ回数
 33：0-10 秒停止回数→ 0-10 秒エンジンストップ回数
 34：10-20 秒停止回数→ 10-20 秒エンジンストップ回数
 35：20-30 秒停止回数→ 20-30 秒エンジンストップ回数
 36：30 秒以上停止回数→ 30 秒以上エンジンストップ回数
 37：0-10 秒停止比率→ 0-10 秒エンジンストップ比率
 38：10-20 秒停止比率→ 10-20 秒エンジンストップ比率
 39：20-30 秒停止比率→ 20-30 秒エンジンストップ比率
 40：30 秒以上停止比率→ 30 秒以上エンジンストップ比率



※ 2：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。

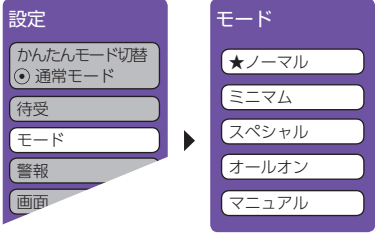
※ 3：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ) 装着時のみ選択できます。

※ 4：別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ) 装着時のみ選択できます。

モード (通常モード)

つづく

1. [モード]の説明



★：初期値

■ モード

通常モードでは、プリセットが4種類とマニュアルモードが用意されています。お好みに応じて変更してください。

モードの種類	説 明
ノーマル	バランスを重視したモードです。
ミニマム	レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけをONに設定します。
スペシャル	取締に関する項目を重視した内容に設定します。
オールオン	すべての機能をONにします。
マニュアル	マニュアル設定で設定した内容になります。(P.67、68、69)

●レーダーの設定

項 目	画面表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。※1	
iキャンセル	キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	67
反対キャンセル	キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	

●GPSの設定

項 目	アイコン	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。※1	
オービス	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	45
直前速度告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	
制限速度告知	LC LH H RD	ON	ON	OFF	ON	ON	
カメラ位置告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	

※ 1：通常モードで設定内容を変更することができます。かんたんモードでは設定内容を変更できません。

●GPSの設定

項 目	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更 できます。※1	
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	45
取締エリア		L 3以上	OFF	全て	全て	L 3以上	
検問エリア		L 3以上	OFF	全て	全て	L 3以上	
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	ON	
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
N システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
急(連続)カーブ		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
分岐合流ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
ETCレーン		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ハイウェイアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
スマートIC		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ガステーション		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
県境		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
VIEWPOINT パーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ゾーン30		ON	OFF	ON	ON	ON	
ラウンドアバウト		OFF	OFF	ON	ON	ON	

※ 1：通常モードで設定内容を変更することができます。かんたんモードでは設定内容を変更できません。

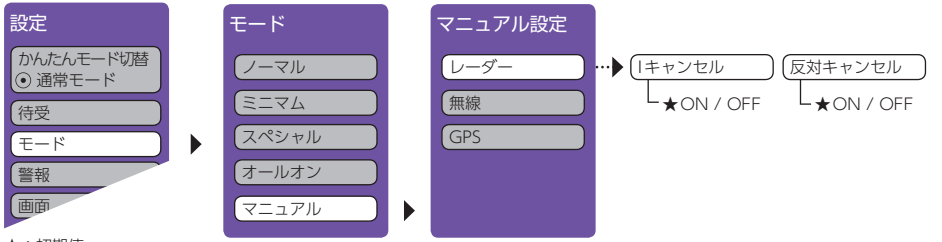
●無線の設定

項 目	画像表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更 できます。※1	
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	45
カーオケ無線		ON	ON	ON	ON	ON	
取締無線		ON	ON	ON	ON	ON	
デジタル無線		ON	OFF	ON	ON	ON	
取締特小無線		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
署活系無線		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
警察電話		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
警察活動無線		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
レッカー無線		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
ヘリテレ無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防ヘリテレ無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
新救急無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
JH(高速道路)無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
警備無線		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

※ 1：通常モードで設定内容を変更することができます。かんたんモードでは設定内容を変更できません。

2. マニュアルモードでのレーダー設定

※ 通常モードで[マニュアル](65)選択時に表示されます。
※ かんたんモードでは表示されません。マニュアル設定を行う場合は、通常モードに切り替えてください。
(53)



■ アイキャンセル(iキャンセル)【特許 第3902553号、第4163158号】

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

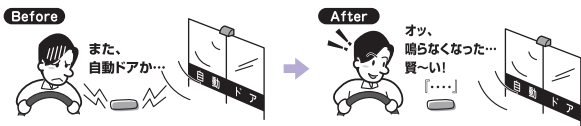
※ 登録数は、アイキャンセル、マイエリア(P.32)、マイキャンセルエリア(P.31)の合計で10,000箇所まで可能です。

※ 10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

モード(通常モード)

●アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目]



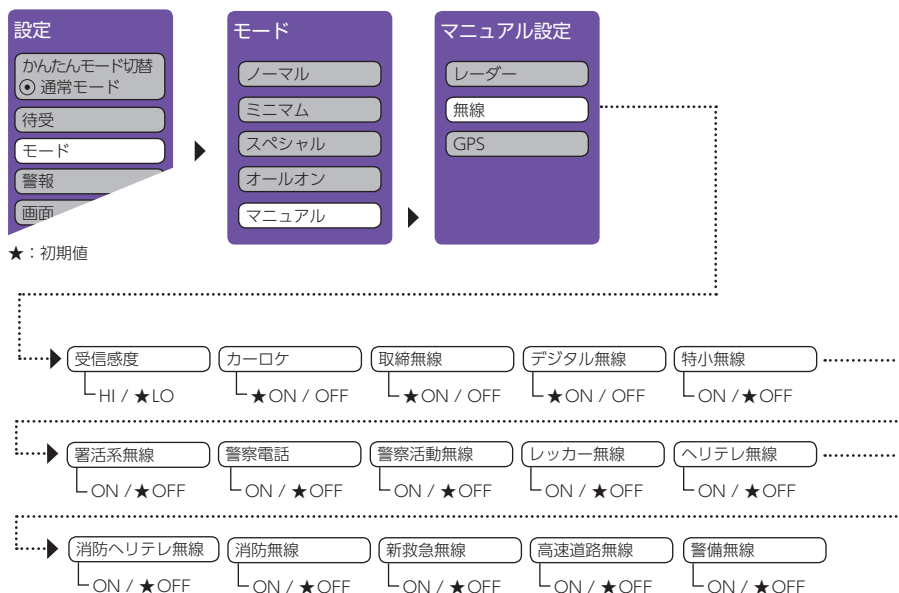
- ※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ※ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ※ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ※ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- ※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(P.74)を参照ください。

■反対キャンセル (反対車線オービスキャンセル機能)

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

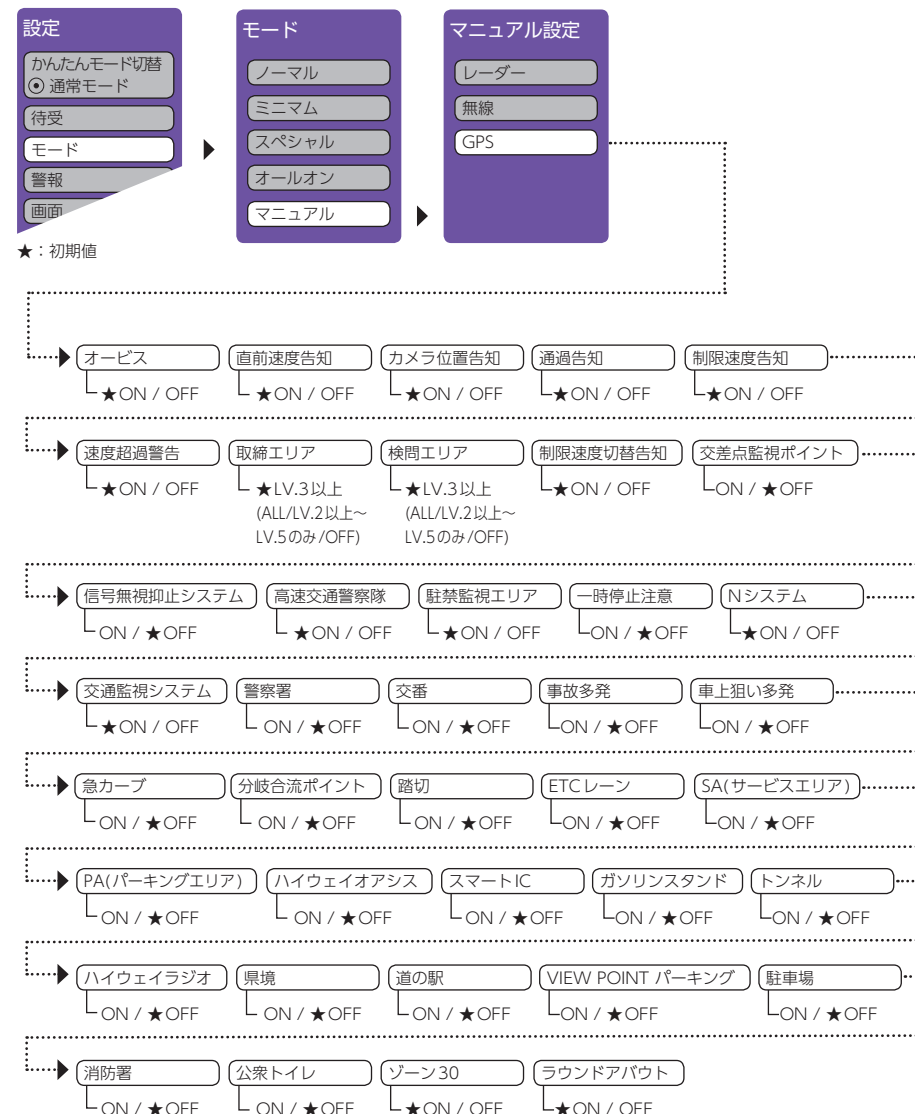
3. マニュアルモードでの無線設定

- ※ 通常モードで[マニュアル](P.65)選択時に表示されます。
- ※ かんたんモードでは表示されません。マニュアル設定を行う場合は、通常モードに切り替えてください。(P.53)

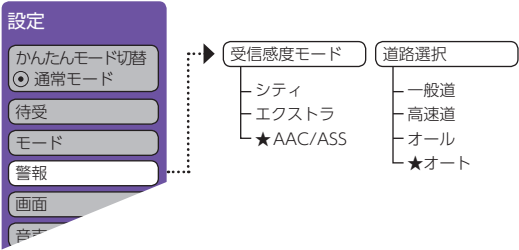


4. マニュアルモードでのGPS設定

- ※ 通常モードで[マニュアル](P.65)選択時に表示されます。
- ※ かんたんモードでは表示されません。マニュアル設定を行う場合は、通常モードに切り替えてください。(P.53)



1. [警報]の説明



★：初期値

■ 受信感度モード

レーダー受信感度を選択できます。

※ 初期値は [AAC/ASS] です。

※ 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

●「シティ」・「エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

●「AAC/ASS」

GPS測位機能（別売品のOBDⅡアダプターで接続されている場合はOBD車速検知）によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択が働きます。

・ AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

・ ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

※ GPS測位機能（別売品のOBDⅡアダプター（ P.12）で接続されている場合は、OBDⅡ車速検知）によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～39km	シティ	警報する
40km～	エクストラ	

※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はエクストラになります。

※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。（別売品のOBDⅡアダプター（ P.12）で接続されている場合を除く。）

■ 道路選択

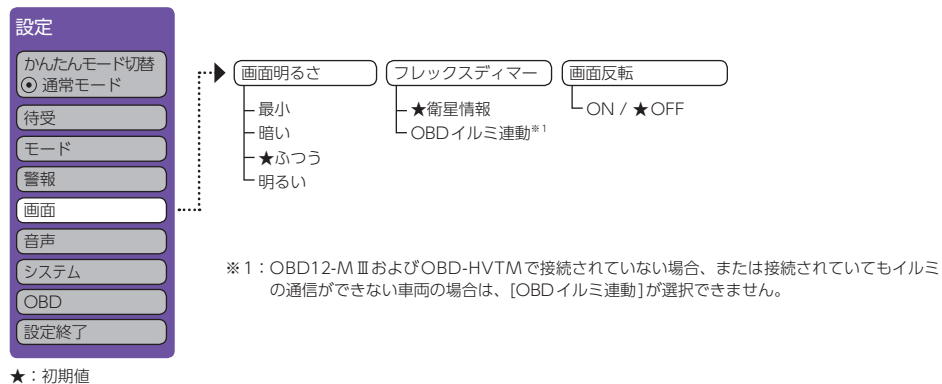
GPS 警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」から選択できます。

※ GPS54 識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	走行道路（一般道か高速道）をGPSの位置情報で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ※ 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ※ GPS測位が困難な状況では、正しく識別できないことがあります。 ※ 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※ 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

画面（通常モード）

1. [画面]の説明



■ 明るさ

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつつ」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

■ フレックスディマー

画面の明るさの調整方法を「衛星情報」か「OBDイルミ連動」から選択します。
初めてOBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ、OBD-HVTM）で接続し、本機を取り付けた場合などに「OBDイルミ連動」が表示されませんが、イルミ信号を受信すると表示されます。

■ 画面反転

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転できます。

音声（通常モード）

1. [音声]の説明



■ オービスロケーション

オービスの手前500mで目標物（交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど）と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

■ レーダー警報音

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

電子音	『ピッピッピッ...』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ 1→メロディ 2→メロディ 3の順)で警報します。

■ 無線警報音

各種無線の警報を「ボイス」「復調」「OFF」の中から選択することができます。
※「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

■ 測位アナウンス

「測位アナウンス」のON/OFFが選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源をONにしてから、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

■ リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています、休憩しませんか?』とお知らせします。

■ 時報

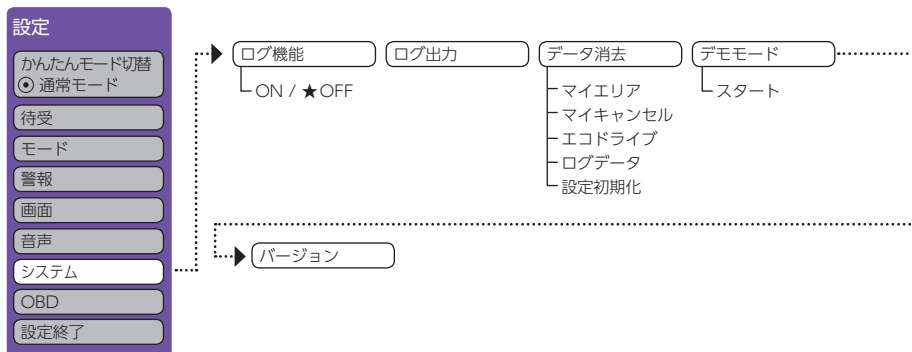
「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です。」

■ 操作音

「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

システム (通常モード)

1. [システム]の説明



★：初期値

■ ログ機能

「ON」に設定すると、約 20.5 時間分の走行データを記録できます。(P.34)

※ 測位状況および走行の状況により異なります。

■ ログ出力

ログ機能で記録した走行データを別売品の SD カードにコピーします。

※ [ログ出力] を選択し [▶] ボタンを押すとコピーを開始します。

■ データ消去

「マイエリア」「マイキャンセル」「エコドライブ」「ログデータ」のデータを消去・クリアできます。また、「設定初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

※ 消去したい項目 (マイエリア、マイキャンセル、エコドライブ、ログデータ) を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。

※ いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。

※ 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

※ OBDII アダプターより取得したデータは削除されません。OBD の項目のオールクリアでデータ消去を行ってください。

■ デモモード

レーダー受信や GPS 警報などの音声や画面表示を実演できます。

※ [スタート] を選択し [▶] ボタンを押すとデモモードが始まります。

※ デモモード中に各ボタンを押すとデモモードは終了します。

■ バージョン

本体バージョン (ソフトウェアのバージョン) と「コンテンツバージョン (登録されている GPS データ情報)」が表示されます。

故障かな？と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ シガープラグコードのヒューズが切れていないか確認してください。

キャップを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



- ☐ シガープラグコードが外れていませんか。
- ☐ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2 ～ 3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。
- ☐ 初めて OBDII アダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

電源がOFFにならない

- ☐ シガーライターソケットの電源がイグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF しない車両があります。このような車両では、エンジンを OFF しても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体から電源コードを外してください。
- ☐ OBDII アダプターを車両に取り付けていませんか。
エンジンを OFF してから本体が電源 OFF するまで、数秒から数十秒かかります。

OBDII アダプターを接続中に突然電源 OFF になった

- ☐ OBDII アダプターのコネクタが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクタが緩むことがあります。

何も表示しない

- ☐ マナーモードになっていませんか。
[▲] ボタンを押してマナーモードを解除してください。
- ☐ 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。
[◀] [▶] ボタンを押して待受画面を変更してください。



音が出ない

- ☐ 音量が「0」になっていませんか。
[▲] ボタンを押して音量を調整してください。

故障かな？と思ったら

GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

レーダー警報しない

- ☐ 電源ONになっていますか。
- ☐ 取締りレーダー波が発射されていませんか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ マイキャンセル登録したエリアではありませんか。(P.31)
- ☐ アイキャンセルしていませんか。(P.67)
- ☐ 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(P.70)
- ☐ マナーモードになっていませんか。
[▲] ボタンを押してマナーモードを解除してください。

取締りもしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器

電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

ひんぱんに無線警報する

- ☐ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS 警報する

- ☐ 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(P.70)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。

取締り現場なのに350.1MHzを受信しない

- ☐ 「取締無線」を「ON」に設定していませんか。(P.68)
- ☐ 取締り現場での連絡が無線方式で行われていませんか。
連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていませんか。(P.67)
- ☐ スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。(P.54、65)
- ☐ GPS測位していませんか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締りエリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

警報の途中で警報音が小さくなる

- ☐ レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(P.42「オートクワイアット」)

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

仕 様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	待機時：170mA以下 最大：260mA以下
受信方式	[GPS 部] 32チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短 1 秒
表示部	液晶ディスプレイ ワイド 3.2 インチ
受信周波数	[GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] Xバンド / Kバンド [UHF 部] 336 ～ 470MHz 帯 [VHF 部] 154 ～ 163MHz 帯
動作温度範囲	－ 20℃～＋ 85℃ 無線部：－ 10℃～＋ 60℃
外形寸法	本機：100 (W) × 59 (H) × 18 (D) mm (突起部を除く)
重量	約 106g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・ゾーン30のデータについて
本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を使用しています。

本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

アフターサービス

- 保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から3年間です。
- 対象部分機器
本体(消耗部品は除く)
- 修理をご依頼されるとき
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間中有的时候
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9：00 ～ 17：00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ  0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ  0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>